

## ◀けやき特別支援学校の活性化・特色化方針▶

種別	病弱	学部・学科	小学部 中学部	R8.5.1 児童・生徒数	(男) 8 (女) 9	計 17
アクセス	<p>J R 『さいたま新都心駅』より、徒歩7分      J R 『北与野駅』より、徒歩8分            ＊埼玉県立小児医療センター1階または2階の南玄関から入り、南エレベーターで7階へ、お越しください。            ＊駐車場はございません。公共交通手段を御利用ください</p>					
＜教育課程等＞						
<p>小学部・中学部だけの学校です。教育形態としては、病棟から学校に通学する『通学による指導』と、病棟のベッドサイドに教員が訪問する『訪問教育による指導』があります。</p> <p>◎『通学による指導』            学年ごとの準ずる教育課程を行う一般学級と、特別支援学級、特別支援学校の教育課程を行う重複学級があります。【週授業時数：25～29単位時間（学年相応標準時数）】</p> <p>◎『訪問教育による指導』            児童生徒に合った教育課程の中で指導内容を精選して、実施しています。【週授業時数：15単位時間（1日3単位時間）】</p> <p>なお、教育形態については、治療方針等踏まえた医師からの指示を基本に、保護者・本人の了承を得て、決定していきます。</p>						
＜学校行事・部活動＞						
<p>◎活動の充実            『病気療養中でも、活動を工夫することで、最大限勉強や行事に取り組むことができる』を基本に、体育祭や文化祭、社会体験学習等（オンライン）の行事についても、実施しています。</p> <p>◎ICTの活用            教室で授業を受けることが難しい児童生徒は、同時双方向型通信を活用して、病室で教室の友だちや教員と一緒に学習できるようにしています。また、ICT機器を活用することで、病棟や教室にいる児童生徒も、校外での活動を体験できるように工夫した取り組みを行っています。（「生活」「総合的な学習の時間」「社会体験学習」など）</p>						
＜家庭・地域との連携＞						
<p>◎復学支援会議            退院後スムーズに前籍校へ移行できるよう、退院時に必要に応じてオンラインによる復学支援会議を実施しています。児童生徒と保護者、前籍校の管理職、養護教諭、担任と、病院関係者（医師や看護師等）、本校の職員で、学校生活の配慮事項などについて、情報共有する場を設定しています。</p> <p>◎その他            センターの機能として、保護者の方や学校関係者・保健関係機関の方々等からのご相談にお応えしています。</p> <p>＊高校生入院時学習支援            埼玉県立小児医療センターに入院中の高校生の学習支援をコーディネートしています。</p>						
＜進路＞						
<p>◎卒業時には前籍校へ転出するため、本校での卒業とはなりません。            【＊前籍校で、地元の友達と一緒に卒業を迎えてほしいため】</p> <p>なお、入院が継続する場合は、前籍校で卒業、進学先の学校に入学後、再び本校に転入という、流れになります。</p>						

## 2 育成方針 『つながり』を大切にした学び

本校に在籍する子供たちは、病気療養のため、家族や地元の友達と離れた生活を余儀なくされています。本校に在籍していても、治療や体調によっては登校することが難しい場合があります。このような生活の中で、子供たちに少しでも、多くの『人』と接点を持ってもらいたく、本校ではICTを活用し、『つながり』を大切にした学びの機会を多く設けています。

直接会うことはできなくても、同じ時間に同じ活動を共有することで、『友達と一緒に』を感じられるようにしています。



病室と教室（校外学習）の『つながり』

地元の学校と本校（教室・病室）の『つながり』



『つながり』をもつことで、登校や元の学校に戻るときに、疎外感が少なく スムースに元の居場所に戻ることができます。